物流ニッポン(物流ﾆｯﾎﾟﾝ新聞社)
2009年4月2日(木)
第3212号

オフィス移転事業強化

カーレントサービス　アスリート就職を支援

保坂社長

【沼尻尚子】精密機器の輸送や産業廃棄物収集運搬などを手掛けるカーレントサービス（保坂高広社長、東京都大田区）は、アスリート・体育会学生専門人材紹介会社、アスリブ（同）と連携し、オフィス移転事業を強化をしている。

アスリブは、現役プロボクサーでもある保坂氏が、二〇〇七年に立ち上げた人材紹介会社。元体育会学生や元・現役プロアスリートらの就職を支援するため、保坂氏のカーレントサービス社長就任をきっかけに「アスリート移転チーム」を結成した。

「移転作業は、体力と時間の勝負。一分でも早いサービスを提供して、お客さまのコスト低減に努めたい。アスリートは働き者で、ガッツ、集中力、向上心と闘争心を兼ね備えている。適材適所の人材」として、独自のビジネスを展開。「将来的にはオフィスのレイアウトとデザインも請け負いたい」と事業拡大に意欲をみせる。

現在、カーレントサービスの自社保有車は三十五両。資産を持たずリスクを減らす物流会社が増える中、「実車を増やして自社を潤す」主義を掲げる。

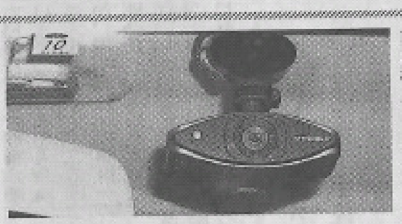
「実車がないと、ドライバーのモチベーションは下がる。街で自社のトラックを見たらうれしいはず。たとえ傭車であっても、当社のカラーに塗り替える」という徹底ぶり。

今後は「企業の合併・買収（M&A）」などを進め、ホールディングス会社をつくりたい。事業を継承する受け皿として企業再生に携わる。不況で周りが止まっている時に走ることが大事」と経営でもアスリート精神を貫く。

DRで事故ゼロ継続

新聞輸送の非効率解消

長井運送



長井運送（長井純一社長、東京都港区）は、ドライブレコーダー（DR）＝写真＝を全車両に導入、燃費向上と事故ゼロを実現した。

景気による物量の変動が少ない新聞輸送だが、荷主の原材料費高騰による運賃値下げ要請が続いており「燃料コストダウンと事故撲滅が利益の確保につながっている」（長井社長）という。

新聞と書類の輸送がメーンで、輸送量は例年と同様だが、運賃の値下げが止まらない。夜間配送でも新聞は「時間外」が適用されず運賃が安い。印刷終了時間までの待機ロスなど高コストの事業構造となっている。

「三十両の規模を維持し、六十両分の仕事をする」を目標に、昼夜のフル稼働に努めてきた。稼働車両数は保有車両の一・五―一・六倍だが「どうしても新聞輸送の空き時間である午後六―十一時に稼働が止まる。自販機の補充配送などすき間の仕事が取れれば稼働率二〇〇%になる」とビジネスチャンスを探る。

当面、新聞輸送の非効率解消に役立っているのがDRだ。従来、夜間の事故が多かったが、毎日の運行解析とドライバー教育で導入し、事故ゼロを継続。東京都トラック協会（星野良三会長）のグリーン・エコプロジェクト……

関運協

利用配分2500万円

預託金制度導入を決定

【田中信也】関東運送事業協同組合（倉田武男理事長）は三月二十七日、理事会を開き、高速道路通行料金の利用状況や運営委員会の下に「ETC（自動料金収受システム）部会」を設置することを報告。また、二〇〇八年度の利用分量配分を二千五百万円とすることや保証の預託金制度の導入を決定した。

冒頭、倉田理事長は、平日の昼間帯の三割引きをはじめとした高速道路通行料金の新たな割引がスタートすることについて触れた上で「関運協の高速道路利用状況が昨年十一月から大幅に減少す